



第121号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

第22回ロザリオ福祉まつり	2
日本財団助成	2
資生堂寄付	3
共同募金会助成	3
聖家族作業所家族会寄付	3
幕張ロータリークラブ義捐金	3
千葉県仮設住宅生活	
支援アドバイザー派遣事業	4
ワークキャンプ実習記録より	4
旭市中央小学校グリーンカーテン	5
喫茶ひまわり復興セレモニー	5
寄付者御芳名	6
フォトギャラリー	7
行事予定	8
お知らせ	8

第22回ロザリオ福祉まつりで行われた矢指小児童によるキッズソーラン

がんばろう！ロザリオ ― 呼び戻そう みんなで 福祉の輪を ―

専務理事 野口厚司

この標語を旗印に取り組んだ第22回ロザリオ福祉まつりは、平成23年9月25日(日)午前9時30分、体育館での開会セレモニーで幕を開けました。

そのセレモニーで標語を応募してくれた二人の利用者から寄せた思いを語ってもらいましたが、それは3月11日の東日本大震災、5月29日の細川前理事長死去と相次ぐ災害や不幸に見舞われたロザリオの聖母会の多くの利用者や職員の気持ちを代弁するかのような内容でした。

今回のロザリオ福祉まつりでは、実行委員会での協議を経て二つの目的を打ち出しました。一つは福祉まつりの原点に立ち帰り、利用者主体、利用者のみなさんに楽しんでもらえるまつりを目指すこと、もう一つは東日本大震災復興支援です。

これまでが利用者主体でなかったというつもりはありませんが、回を重ねるに連れ原点を見失う嫌いはどのような世界にもあること

なので、改めて原点回帰を目的に掲げ、あちらこちらに利用者の皆さんの笑顔が見えるようなお祭りになりたいというのが本意でした。

また、東日本大震災でロザリオの聖母会の建物、設備は甚大な被害を受け、未だ復旧の途上にあります。しかし震災直後から物心両面にわたって社会の皆様から大きな励ましをいただいたことは私たちにとって忘れられない喜びでした。このことへの恩返しの意味も含めてバザー収益の一部を被災者の方々に義援金として差し上げようというのが二つ目の目的です。

この二つの目的を達成するためいくつかの新たな試みを取り入れましたが、その一番目が皆のころを一つにするための標語募集で、利用者や職員のみなさんから11点の応募をいただきその中から選ばれたのが頭書の言葉でした。

二番目には、実行委員会の中に事務局を設けたことです。従来の本部職員に加え入所系、通所系、相談系から代表者を招いて多様な

意見を反映させるよう心がけるとともに、事務局体制強化を図るという狙いもありました。7月以降4回の事務局会議を開き、相談を重ねる中で催し物のアイデア、義援金募金箱作成や駐車場準備、開会セレモニーの企画などに勤しんでもらいました。

三番目には、仮設住宅生活支援アドバイザー事業担当者の中から被災者の方々を招待しようという声が集まったことです。日常の買い物にも不自由する生活ぶりを目の当たりにした職員たちの企画により、無料食事券を提供するなど、の案内を旭地区、飯岡地区の仮設住宅に配布した結果、36人の方が会場を訪れてくださいました。

このような内容で賑やかに行われたロザリオ福祉まつりを支えてくれたのは地域、市民の皆様や250人を超えるボランティアの方々、107の参加団体や家族会、職員のみなさんであったことを心に刻みつつ、第22回の報告とさせていただきます。

車両納入

ロザリオ訪問介護事業所

このたび、日本財団の助成を受け、平成23年3月10日に念願であった車両1台を納入させていただきました。この車両は、安全運転をこころがけ、地域にお住まいの高齢者や障害者支援としてのヘルパー活動のために、大切に使用させていただきます。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。



「株式会社資生堂様に感謝」

佐原聖家族園

このたび佐原聖家族園では、平成23年4月に株式会社資生堂様より、シャンプーを頂きました。毎日の入浴で欠かせないシャンプーを頂き、香りの良いシャンプーに入浴が楽しくなると利用者も大変喜んでおります。

なお、資生堂様からは、佐原聖家族園開設当初より毎年ご寄付をいただいております。永年のご厚意に感謝と御礼を申し上げます。



共同募金会より

ワークセンター

4月より生活訓練事業と就労継続支援B型事業へと移行し、新た

なワークセンターとして始動しました。

そのような中、千葉県共同募金会より「平成22年度赤い羽根募金助成決定」の通知が届き、以前より強い要望のあった日産キャラバンを平成23年7月12日に納車することができ、事業を完了することができました。

利用者の送迎や作業場への移動などが新しい車でできると職員・利用者一同大変感謝しております。

また、社会科見学など小グループで実施することも可能になり、利用者の皆さんのニーズに細やかに対応できるようになることと思っております。

「赤い羽根募金」にご協力頂いた皆様のご厚意に、心より感謝申し上げます。



家族会より災害見舞金のご寄付

聖家族作業所

この度、聖家族作業所では当施設の家族会より、3月11日に発生した東日本大震災の災害見舞金をご寄付いただき、フラワールード脇に「かぞくの泉」と命名した井戸を設置致しました。この「かぞくの泉」は主に園芸班の作業用として、花壇への水遣りを行う際に使用したり、作業後の手や顔を洗ってリフレッシュする場として有意義に利用させて頂いております。皆様からの温かいお気持ち、心より感謝申し上げます。



幕張ロータリークラブ様より震災義捐金

法人本部

この度、千葉幕張ロータリークラブ様より東日本大震災で被害を受けた本会へ義捐金を頂きました。千葉幕張ロータリークラブ様へ、従来より親睦野球活動で交流のありました鳥取県の境港ロータリークラブ様から「被災した千葉県で役立ててほしい」と10万円の寄託があり、これを受けて、千葉幕張ロータリークラブの社会奉仕事業の積立金と合わせて20万円の義捐金の受入先を探していたところ、滝郷学園の土川峰仙先生から本会へのご紹介があったそうです。去る、7月28日（木）に代表の方々が来訪され、義捐金を頂きました。

震災復興資金として使わせて頂きます。関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。



「千葉県仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業」

海匠ネットワーク 所長 吉野智

東日本大震災より3カ月が経過する6月に入り、旭市でも全200戸（飯岡地区150戸・中央地区50戸）の仮設住宅が稼働し始めました。

仮設住宅における生活をサポートし、「孤立させない・生活再建」をコンセプトとして開始された事業



が「仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業」です。これは、千葉県高齢者福祉課が主幹課となり、ロザリオの聖母会が受託しております。

仮設住宅での生活は、非難所に比べればプライバシーが守られるとは言っても、そのストレスはいろいろな側面に表れてきます。過去の事例においても、意欲が減少し引きこもりがちになる傾向も確

認されるなど、その生活をサポートする必要があるとあります。この事業では、社会福祉士や精神保健福祉士、臨床心理士や介護支援専門員などの多職種チームが相談支援を担当します。被災された方々を側面的にサポートし、生活再建を図っていきけるよう努力していきたいと考えております。なお、この事業では、在宅被災者の方々も支援の対象としております。相談室は、飯岡仮設住宅の集会所内に設置してございます。相談の番号は（090-6316-2593）で、夜間でもつながります。お気軽にご相談ください。



ワークキャンプ実習記録より

松尾高等学校 高橋 瑠璃香

初めて一人で介助をまかされて不安だったが、怖がらずにやる事ができた。

利用者さんと会話していて私は全く何言ってるのか理解出来なかったけど、施設の方達はすぐに欲しい物などを理解していたので驚いた。

水分介助と食事介助はやはり、コミュニケーションが取りづらい方はすごく大変だと改めて思った。

昨日一緒に散歩したり、パズルした方が覚えていてくれて、笑ってくれてすごく嬉しかった。

シールを貼っていた方のお手伝いをさせていただいた後、廊下ですれ違う度に「ありがとう」と言ってくださって嬉しかった。

今日は色々な方とたくさんコミュニケーションをとった。すごく楽しかった。

コミュニケーションをとっている時、少し沈黙が出来てしまったけど、間だと思えば何も言わず笑顔で目を見ていたら、利用者さんがゆっくりだけど色々な質問をしてきてくれた。三日間の中で一番良かった。

マッサージの得意な利用者さんが、「最終日で疲れてると思うからマッサージしてあげる」と言ってくれて私の手をマッサージしてくれてすごくうれしかった。

三日間すごく充実していてとても良い経験が出来た。

将来マリア園のように笑顔でいっぱい施設で働けたら良いと思う。

松尾高等学校 鈴木 遥巳

リネン交換は三日間のうちで一番良かったと思う。褒めていただけて嬉しかった。

オムツ補充はときばきとできた。食事介助は昨日と同じ方だったの

で少しスムーズにできたと思う。

トイレの介助をしているのを見させていただいたけど、二人で三人の方を介助していてすごいなと思った。抱え方や、下着の着脱はまだ一人ではできないなと思った。

三日間を通して、実際、施設でやってみないとわからないことや雰囲気などが体験できてよかった。どこまでやっていいのか、何を言いたいのかなど、まだまだ不十分なところがあり、もっと勉強しようと思った。

スタッフの方と利用者さんが楽しそうにお話をしたり、冗談を言ったり、自然に接しているのが少し羨ましいと思った。でもそれは経験だなとも思った。

スタッフの方同士の連携プレーみたいなのがみれてよかった。

三日間、とても充実していたし、楽しい思いやおもしろいことがたくさんあって、来てよかったと思うた。

将来、マリア園に就職できたらいいなと思った。

『グリーンカーテン、涼しいな!』

みんなの家 主任支援員 林裕美子

7月13日に旭市立中央小学校5年B組の皆さんが来所され、みんなの家のメンバーと一緒に長岐ホール前にゴーヤと朝顔のグリーンカーテン作りを行いました。

この活動は、みんなの家で節電対策と地域交流を検討していたところ、旭市立中央小学校よりグリーンカーテンをご提案していただいたことがきっかけで、スタートしました。

そして5年B組の皆さんが【旭・学びサポート助成金】を申請し、学校で種をまき、育て方を調べ、みんなの家に運んでメンバーと共にツルを巻いたり、肥料を撒く作業を行いました。小学生からみんなの家のメンバーにバトンタッチされたあとは、就労移行班や喫茶班を中心に成長の様子を観察し記録をとりました。初めて収穫したゴーヤを手にとったときのメンバーの顔は、何とも言えませんでした。今年も猛暑で、グリーンカーテ

ンは暑さを凌いでくれたのは勿論のこと、そこを通る方たちの目の保養にもなりました。小学生の皆さんと交流も図れ、本当に素敵な夏になりました。



『喫茶ひまわり 復興セレモニー』のお知らせ

みんなの家

東日本大震災により喫茶ひまわりも店舗一部を被災し、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。が、関係各方面のご尽力により、9月2日、無事リニューアルオープンすることができました。

その記念と致しまして、左記の日程にてセレモニーを開催いたします。特別ゲストとして、アンサンブル「Fami」の皆さんによるコンサートが行われますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひお越しください。なお当日は、喫茶ひまわりメンバーの、手作りクッキーを先着50名の方にプレゼント致します。

日時 平成23年10月21日(金)
13時20分〜14時30分
場所 長岐ホール

Photo Gallery



▲聖マリア園
今年も「納涼祭」書きますぞ!!



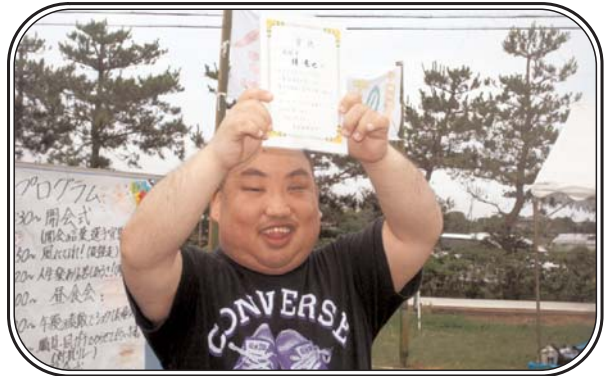
▲聖マリア園 納涼祭
「納涼祭楽しんでます♪」



▲佐原聖家族園 ウォーターフェスタ
「風になります!!」



▲佐原聖家族園 サマークラブ
「割れたかな？」



▲聖家族作業所 スポーツ大会～全力疾走の夏～
「やったぜ敢闘賞！」



▲聖家族園
「外で食べるそうめんは一味違う！」



▲聖家族園
「今日は楽しいプールの日♪」

障害者週間行事のお知らせ

日時 平成23年12月7日(水)

第1部 13:00

平成23年度第20回ボランティア感謝式
平成23年度第20回作文コンクール表彰式

第2部 14:30

障害者週間記念講演会 「虐待とは何か」

講師 筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授
宮本信也 先生

場所 聖母通園センター2階ホール

主催 社会福祉法人 ロザリオの聖母会

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイト
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

行事予定

- 23.10.1 上半期人事考課月間
- 4 経営会議
- 5 創立記念日行事、経営会議
- 12 法人運営会議、経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 14 クリーンデー
- 19 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 21 喫茶ひまわり復興セレモニー
- 23 家族会連合会
- 28 新暁の星病棟新築工事起工式
- 11.2 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 8 研修委員会
- 8~10 新採用職員研修会
- 9 経営会議
- 11 クリーンデー
- 15 研修会議、医療監視(海上療養所、聖母療育園)
- 16 法人運営会議、施設・事業所長研修、経営会議、地域生活支援会議
- 29 印旛健康福祉センター監査(聖母療育園)
- 30 理事会、評議員会
- 12.7 障害者週間行事(ロザリオ福祉作文コンクール表彰式・ボランティア感謝式・講演会)、経営会議
- 9 クリーンデー
- 14 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 21 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 25 クリスマス休日、チャリティーコンサート
- 30~1/3 年末年始休暇
- 24.1.4 新年あいさつ会、経営会議
- 10 研修委員会
- 11 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 13 クリーンデー
- 18 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 25 理事会

職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる
看護師を募集しています。

◆随時面接を行っていますので、
本部総務課までご連絡ください
TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や
利用者のために常時ボランティア
のご協力をお願いしています。
お願いのできる方は是非、ご連
絡ください。ご協力をお願いしま
す。

問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

新任者紹介

海上療養所



看護師

浅野 演美

明るく爽やかさを感じさせ、
そのうえ芯の強さを感じます。
早く海上寮に慣れ、戦力とな
るよう期待しています。

- 医療 療養所
- 自立訓練(生活訓練・就労継続支援B型事業所)
- 地域生活支援センター
- 重症心身障害児施設
- 聖母療育園
- 重症心身障害児通園施設
- 聖母通園センター
- 障害児デイサービス
- ふたば保育園
- 地域生活支援センター
- ロザリオ発達支援センター
- 障害者支援施設
- 知的障害者更生施設
- 聖マリア
- 知的障害者更生施設
- 障がい者の就労促進事業所
- みんなの家
- 障害者就業・生活支援センター
- 東総就業センター
- 生活介護事業所
- 聖家族作業所
- 共同生活介護・共同生活援助事業所
- グループホーム支援センター
- 高齢者支援事業
- ロザリオ高齢者支援センター
- ロザリオ訪問介護事業所
- 通所介護・介護予防通所事業所
- デイサービスセンター・ローザ
- 中核地域生活支援センター
- 旭市相談支援事業
- 旭市相談支援センター
- 旭市相談支援センター
- 知的障害者更生施設
- 佐原聖家族園
- 重症心身障害児通園施設
- つどいの家
- 共同生活介護・共同生活援助事業所
- ケアホーム香取・グループホーム香取
- 香取市相談支援事業
- 香取障害者支援センター
- 障害者就業・生活支援センター
- 香取就業センター